

ギャンブリング・債務(浪費)依存ワークショップ

(本人・家族・関係者のためのプログラム)

ギャンブリング依存症は家族全体も病んでいく病です。治療すれば回復可能な病気といわれています。しかし、本人はもちろん、その家族、関係者にとって「ギャンブルを止めるといっても止められないこと、病気とするには抵抗があること」など、多くの悩みを抱えこんでしまう特徴があります。

このワークショップでは、ギャンブリング依存症について4つの側面から認識を深め、問題の解決法があるということを知っていただくようなプログラムを企画しました。

プログラム

※新型コロナウイルス感染症対策のため、15名定員となります。

- ① 6月2日(木) 「ギャンブリング障害 ～アディクションの理解とともに～」
医師 奥平 富貴子
- ② 6月9日(木) 「債務整理について」
弁護士 北島 みどり
- ③ 6月16日(木) 「家族関係と心の悩み」
ワナクリニック カウンセラー 鈴木 美奈子
- ④ 6月23日(木) 「自助グループメンバー(本人・家族)の体験談」
ギャンブラーズアノニマス メンバー
ギャマノン メンバー

☆ 6月30日(木)はTAG・ゆるくらふと(9:30～11:00)です。

- 9:00～ 受付開始
- 9:30～10:30 講義(1階 作業療法室)
- 10:40～11:40 グループセラピー

(本人:1階 作業療法室 家族:1階 集団療法室)

【参加費】 本人：保険診療によるお支払い
家族等：1100円

！新型コロナウイルス感染症対策にご協力下さい。

- *必ずマスクの着用をお願いします。マスクはご自身で準備をお願いします。
- *病院入口にて、手指消毒、検温及び受付時の問診票の記入にご協力下さい。問診票の内容によっては、参加を見合わせていただく場合があります。
- *待機中の私語は、可能な限り謹んでいただくようお願い致します。
- *2週間以内の発熱、風邪症状、流行発生地域やクラスター発生場所への出入りがある方は、参加をご遠慮下さい。判断に迷う場合や、ご不明な点があれば、下記担当者までお問い合わせ下さい。